

主題構成表

主題名 3 - 1 自然を大切にする (三枝小4年組) 資料名「ほたるの川」

<p>資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちも育てているホタル、三枝のホタルの生育状況と考え合わせながら資料に浸ることができる。 川が汚されているためにホタルの幼虫が育たないことを五十嵐さんから聞いたときのゆみ子さんの気持ちに自分の気持ちを重ね共感することができる。 クリーン作戦に参加したときの由美子さんの気持ちから、自然を守るために自ら行動することの価値を感じ取ることができる。 	<p>内容項目 3 - (1)</p> <p>自然のすばらしさや不思議さを知り、自然や動植物を大切にする。</p>	<p>価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学年の時期になると、相手の立場になって物事を考えたり、とらえたりすることができるようになる。それは、自然や動植物に対しても同じである。 このような認識能力の発達をふまえた指導を行うためには、自分たちが現在行っているホタル飼育活動と自然環境とを結びつけて考えさせ、自然や動植物に対する理解をいっそう深めるような指導を行うことが大切なことである。 自然や動植物に対する理解をふかめながら、自然や動植物の立場に立ち自分たちができることを考えていくことで、具体的な行為として発揮できるように仕向けていくことが必要になる。
	<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年生になり、ホタル飼育を引き継ぎホタルの飼育に携わってきており、ホタルに対する愛情は育ってきている。 学習を通してホタルについての知識は深まっているが、三枝地区の自然環境にまで目を向け、自分でできることは何かを考えたり行動したりすることはできない。 <p>意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ホタル飼育活動、ホタルプロジェクトと行った自然体験活動を行ってきているが三枝の自然環境を結びつけて考える意識が弱い。 	

ねらい
ゆみ子がほたる保護活動に参加していく気持ちを考えることを通して、自然が失われつつあるという状況に気づき、自然を大切にしようとする態度を育てる。

<p>展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の感想を発表させることで、価値への方向付けをしその中で話し合う場面を設定する。 自分たちも育てているホタル、三枝のホタルの生育状況と考え合わせながら資料の状況に浸ることができるようにする。 川が汚されているためにホタルの幼虫が育たないことを五十嵐さんから聞いたときのゆみ子さんの気持ちに自分の気持ちを重ね共感させ、自然の大切さに共感する心情を引き出す。 クリーン作戦に参加したときの由美子さんの気持ちから、自然を守るために自ら行動することの価値を感じ取ることができる。 展開後段では、自分たちにも豊かな自然を守るためにできることがあることを自覚できるようにしていく。 	<p>基本発問 (中心発問)</p> <p>感想を話しましょう。</p> <p>「川にゴミをすてたり汚す人がいたり、きれいな水を必要とするゲンジボタルの幼虫がなかなか育たないんだよ。」とさみしそうに五十嵐さんが言ったときにゆみ子さんはどんな気持ちだったろう。</p> <p>クリーン作戦に参加した由美子さんはどんな気持ちだったろう。</p> <p>どうしてゆみ子さんはゴミを捨てる手に力が入ったのでしょうか。</p> <p>ほたるの住みよい豊かな自然にするために自分たちでできることはないだろうか。</p>
--	---